

万防機構

情報の共有・活用が重要

通常総会を開催

特定非営利活動法人
全国万引犯罪防止機
構（竹花豊理事長）
は、6月18日に東京都
千代田区にある主婦会
館エンプラザで201
8年度通常総会を開催
した。

弁護士、警備会社、マ
スメディアと、多方面
の方々から関心を集め
ていることを実感し
た。2017年3月の
万引対策強化国際会議
において、定められた
6項目の宣言文に基づ
いて、当機構は活用を
行なっている。それま
での提言、調査といっ
た「静」的な仕事か
ら、万引を実際になく

状況が続けていくため
に必要な予算とこれに
関した事業についてご
理解を頂きたい」と換
拶を述べた。

また6項目の宣言文
の中で最も重要な柱で
ある事業者間、あるいは
ジャンルを超えた業
者間での万引被害およ
び犯人に関する情報の
共有・活用という課題
を中心に現在、進めて
いる作業は3つである
ことを伝えた上で、「顔
認証機能を利用したも
の。個人情報にあたら
ない被害情報や犯人の
情報を共有する仕組
み。警察を中心に情報



竹花理事長

していき、万引犯人と
戦う具体的な施策を講
じるNPOとして活用
内容を大きく転換して
きています。今年3月の
セキュリティショーに
おいて紹介した通り順
調に進んでおり、この

が集約され、警察の判
断において情報の共有
が必要な範囲で行われ
ていく仕組み」と話し
た。

議題に入り、竹花理
事長に選出、議事は第
1号議案「2018年
事業報告および決算
案」、第2号議案「2
019年度事業計画お
よび予算案」、第3号
議案「役員・第2条
（事務所の変更）」、第
4号議案「役員の追加
の件」が審議され、承
認された。

また、新理事として
光真章氏（万防機構事
務局長代行）、豊川奈
帆氏（ウェリアシヤパ
ン㈱代表）が就任。
総会の最後に樋口健
史副理事長が登壇して

「万防機構の活動に対
して、企業の支援を求
めるとともに、万引に
対して、社会を挙げて
取り組むチームであ
る。誰でも理解できる
身近で重要な取り組み
だ。この取り組みを運
携して進めていくこと
が、社会をより良いも
のにしていくと思う」
と述べた。

その後、当面する万
引対策検討会が行われ
た。①顔認証を利用し
た情報の共有②竹花理
事長。③万引被害およ
び犯人情報の共有④佐
藤誠氏（㈱ユニクロ）。
⑤インターネット利用
の処分市場の実態と対
策⑥若松委員長。